

令和6年度学校評価 学校独自質問項目 第1回、第2回比較

【学校独自質問】 令和6年度学校評価(12月)アンケート結果							第1回(7月) 第2回(12月) 比較	
保護者		回答率 92%		36 名回答 (39名中)				
番号	質問内容	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合(12月)	肯定的評価割合(7月)	増減
		肯定的評価		否定的評価				
Q1	授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている	18	14	2	2	89%	93%	-4%
Q2	国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている	16	15	2	3	86%	93%	-7%
Q3	学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている	14	18	2	2	89%	93%	-4%
Q4	課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている	12	20	2	2	89%	93%	-4%
Q5	他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている	11	17	5	3	78%	87%	-9%
Q6	自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている	10	22	1	3	89%	90%	-1%
Q7	生徒が主体であることを意識できる指導がされている	14	17	2	3	86%	93%	-7%
Q8	様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている	14	17	2	3	86%	93%	-7%
Q9	インターンシップやボランティア等とおして、地域と共に生徒を育てようとしている	19	12	2	3	86%	87%	-1%
Q10	行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている	21	10	2	3	86%	90%	-4%
生徒		回答率 88%		36 名回答 (41名中)				
番号	質問内容	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合(12月)	肯定的評価割合(7月)	増減
		肯定的評価		否定的評価				
Q1	授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている	17	17	2	0	94%	93%	2%
Q2	国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている	17	16	3	0	92%	90%	1%
Q3	学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている	15	18	3	0	92%	95%	-3%
Q4	課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている	17	12	7	0	81%	90%	-10%
Q5	他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている	17	13	5	1	83%	83%	0%
Q6	自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている	17	15	4	0	89%	81%	8%
Q7	生徒が主体であることを意識できる指導がされている	19	13	4	0	89%	85%	3%
Q8	様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている	18	16	2	0	94%	93%	2%
Q9	インターンシップやボランティア等とおして、地域と共に生徒を育てようとしている	20	12	2	2	89%	93%	-4%
Q10	行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている	18	14	4	0	89%	93%	-4%

【分析】

- ・保護者の評価は全体的には高いが、第1回と比べて肯定的評価割合が全ての項目で低下している。
 - ・生徒の評価は全体的に高く、保護者よりも肯定感が高い。第1回と比べて大きな変化はない。
- 保護者の評価が総じて低いことの要因として、県指定項目の回答分析と同様に、学校からの情報発信不足が考えられる。評価が低下したことを真摯に受け止め、今後の教育活動に生かす必要があると考える。
- 第1回の結果から課題と認識したQ5「授業で他者と一緒に考える場面が取り入れられている」について、その評価に大きな変化はなかった。対話型の活動を授業に取り入れる場面は徐々に増えてきているので、実施するにはその目的や意義を生徒により理解させる工夫が必要なのではないかと考える。